

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことは		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2026年1月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数) 13人
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの健康や発達の状態などの情報共有や、目標に向けての取り組みに向けて統一して取り組む。	子ども達の学校での様子や来所時の状態など、支援の中で確認することから、状態の変化に気づけるように支援を行う。	それぞれの職員が様々な専門性を高め、統一して療育支援に取り組むための知識と技術を高める。
2	活動計画をもとに、毎日の活動に取り組む。	毎月支援に関する会議を行い、活動内容を決定している。子ども会議を開催し、子どもたちの意見を反映している。	様々な変化に対応できるよう活動が固定化しないよう取り組んでいます。
3	様々な避難訓練を行い、子ども自身や家族、事業所職員もそれぞれが体験することで、想定外の出来事に対するの対策を積んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> 地震、不審者、火災等の避難訓練を行っている。(毎月) 法人全体の合同避難訓練を行っている。(年1回) 避難所体験のイベントを行っている。(年1回) 家族に事業所の災害マニュアルを配布し、周知を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人一人に合わせて、防災について考え行動する力を育てる取り組みを行う。 変化が苦手な子ども達のために、日常の中に防災を意識した取り組みを行う。(例えば、備蓄食など食べられるものを確認、テントの中で過ごす、担架に乗るなど)

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族の方にも理解し、療育への取り組みを知ってもらう機会をつくるとともに、障害特性に応じた環境整備に関する理解を促す。	家族の方と情報交換し、療育について話す機会が不足している。	家族の方との定期的な交流の機会を増やしていきたい。職員の専門性を高め、統一して療育支援に取り組むための知識と技術を高める。
2	地域とのつながりが難しい。	日常の中で交流する機会を持つことが難しい。	<ul style="list-style-type: none"> 戸外活動で外出する機会や社会性を学ぶ機会を確保する。 法人のイベントやSNSなど事業所の情報を発信することで、活動を知ってもらう機会をつくっていく必要がある。
3	家族の方が相談しやすい	モニタリングや保護者会を通して相談の機会を設けているが、その他の機会での交流する機会が少ない。	定期的な交流する機会を増やす中で、関係性を築くことができると考えている。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ことは					公表日	2026年1月26日		
						利用児童数	15人 (うち2名がきょうだい児)	回収数	13人
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	2	0	1	子どもひとりひとり必要な環境設定がありますが、集団の中で、活動に合わせて工夫して支援を行っています。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	2	0	3	活動や支援内容に応じて、職員の立ち位置や支援方法を考え行っています。状況に応じた対応ができるよう支援技術を高めていければと考えています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	0	0	2	活動の中で環境の設定や、活動を工夫しながら支援を行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1	0	0	活動に合わせ、個々の力が発揮できるように空間づくりを考え支援を行っています。		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	0	0	2	研修を行いながら支援技術を高め、個々の支援目標に向かって取り組みたらと考えています。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	1	0	2	事業所としての支援プログラムをもとに個々の支援内容を考えしています。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	0	0	0			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	2	個別支援計画は、個々の目標に応じて支援内容を設定させてもらっています。		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	2	送迎中や身の回りの動作、活動や毎日のスケジュールの中に、個別支援計画の目標を取り入れ行っています。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1	0	2	毎月、会議を行い毎日の活動を計画しています。子ども会議を開き、こどもたちの意見も取り入れています。		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	0	3	6	直接交流するのではなく、法人のイベントなどを通して、交流する機会としています。		
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	1	0	0	事業所の利用に際する説明などの連絡を再度、丁寧にお伝えできるよう掛けます。		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	1	0	0	個別支援計画にある目標に向けての取り組みを具体的にお伝えし、家庭と統一して取り組んでいければと考えています。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2	1	4	保護者会を通じて、支援を考える機会になればと考えています。また、他機関で行う研修等の情報提供を行っています。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13	0	0	0			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	2	0	2	相談については、随時対応させていただいています。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	1	0	2	子どもひとりひとりの成長や支援について一緒に考えていけるような関係が築けるよう努めます。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1	0	4	保護者会や法人のイベントを通じて、交流できる機会になればと考えています。		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1	0	2	相談など対応できるよう体制を整えていければと考えています。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1	0	1	書面や直接お伝えするなど、ご家族に伝えるようにさせていただきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	0	0	自己評価の結果など、ホームページに掲載させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	1	個人情報の取扱いには十分注意させていただきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	0	0	1	年間で訓練を計画し、取り組んでいます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	0	0	1	定期的な訓練の実施を行い、訓練での状況を連絡ノートでお伝えしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	0	0	2	けがや体調を崩すなど、すぐにご家族に連絡させてもらうようにしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	0	0	0	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	0	0	0	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	0	0	0	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ことは	公表日 2026年 1月 26日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・室内を区切り活動をしている。落ち着けるスペースを作っている。 ・活動内容に応じて個々で行う。動線にならないよう机や棚のはいちをしている。 ・利用者の特性に応じて空間を柔軟に活用し、区切っている。 ・ワンフロアで部屋は広いが室内に棚を設置し区切りをつけ環境を整えている。 	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当を決めて子どもたちを見ている。状況に応じて複数で対応する子もできる。 ・利用者が安全に生活できるよう支援している。 ・個別に応じて担当の人数で支援を行っている。 	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・導線を考えて室内の配置をしている。 ・一日のスケジュールを貼りだしている。活動を行う際に絵カードで伝える。 ・宿題をする場所、遊ぶ場所を作る。1日の予定をボードに絵カード付きで作っている。 ・室内配置を分かりやすくしている。バリアフリー化にしている。 ・おやつなど食べるテーブルと宿題などをするテーブルを別にしてしている 	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・天窓を開け換気を行うようにしている。 ・便を拭いた後、清掃をし清潔感を保っている。 ・毎日清掃を行い、清潔な環境づくりをしている。 ・毎日清掃・洗濯・消毒を行っている。活動に応じての場所の確保もできている。事業所の湯が出るようにしてほしい（トイレ後の清潔の為）。 	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて個別の空間を作っている（テントなど使用することもある）。 ・必要に応じてテントなど設置し個別の部屋をつくっている。 ・ワンフロアのため、個別空間が必要な場合にテントを立てたりし、環境を整えている。 	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日必ず時間をつくるようにしている。 ・毎日おこなっている。 	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務でチェックリストを書く時等、本日の振り返りを行い意見を出している。また記録を書いている。 ・業務でチェックリストを書く時等、本日の振り返りを行い意見を出している。また記録を書いている。 	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に法人内で研修に参加、外部研修にも参加している。 ・定期的に研修を行い、外部研修にも参加している。 ・定期的に法人内で研修を行っている。外部での研修にも参加している。 ・ころんでの研修に参加している。また、外部研修にも参加している。 	

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		・活動の絵カードで伝えるようにしている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		・計画前にモニタリング、ケース会議で職員参加で行っている。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		・毎月の活動について職員間で話し合い、内容を組み立てている。 ・毎月の活動を職員間で話し合っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		・個々に応じた活動を心掛けている。 ・毎回違う方法で工夫して支援を行っている。 ・子ども会議でリクエストがある活動を取り入れている。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		・個々に応じた支援について話し合う時間をつくっている。 ・スケジュールの流れ棟、担当など必ず話し合っている。 ・支援前にその日の人数や最近の様子等職員間で話し合い共有している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0		・学校での聞き取りながら車内での様子、その日の様子の気づきなど共有している。 ・送迎後必ず振り返りを行っている。 ・学校での様子を聞き、車内・事業所の様子を振り返り次につなげる話し合いをしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		・記録をとる際に職員に細かく用紙を聞き取るようにしている。 ・毎日記録をとり、職員間で子どもの様子を話し合っている。 ・支援内容について振り返り、記録をとっている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0		①自立支援と日常生活の充実②創作活動③地域交流④余暇の提供
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		・絵カードを使って伝えられるようにしている。子ども会議等で自分の考えや伝える事の大切さを伝えている。 ・毎月子ども会議を行い、やりたい活動、食べたいおやつを伝えられる機会を設けている。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0			
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0			

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、下校時間等時月の予定について変更がある時も適切に行えている。 ・学校の先生と連絡調整はできている。 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・法人のイベント開催を通じて一緒に参加する場を設けている。 ・ころんのイベントに参加してもらおうチラシの配布、家庭への連絡で参加してもらっている。 ・イベントを開催し、交流の場をつくっている。 	感染症対策や個々の取り組む目標の応じて、事業所としての交流の機会を持っていません。小集団や環境設定が必要なこどもにとって、適切な支援ができるよう支援に取り組んでいます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1		参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時にその日の様子を伝えている。保護者の方からの話があった時には聞き持ち帰るようにしている。 ・送迎時に伝えている。 ・送迎時、お迎え時にその日の子どもの状況を保護者に伝えている。 ・送迎時や事業所のノートに細かく様子を伝えている。また、保護者からの連絡について聞き職員間で共有している。 ・送迎時や連絡帳などで相談などを行っている。 	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6		保護者会を通して、情報の共有や支援を考える機会としています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、その月の活動概要などを記載したお便りを配布している。 	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流のできるイベントの開催を考えている。 		

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・毎月避難訓練をしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・毎月避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・保護者からの子どもの状況を聞き、確認はしている（薬のコピー等）。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・保護者の方からの医師の指示書のコピーをいただき、相談しながら対応している。 ・保護者からの子どもの状況を聞き、確認はしている（薬のコピー等）。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ヒヤリハットは細かい所まで出すようにし、事故につながらないよう話し合いをしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・身体拘束適正化について法人内で検討し、保護者の方には十分な説明をしている。		